

令和 6 年度 公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団事業報告

事業活動概要

当財団が緑の基金として発足し、公益財団となって 12 年目となる令和 6 年度は、公益財団法人としての使命を更に意識しながら、花と緑のまちづくりに寄与するための各種事業の推進に努めた。緑地の保全をはじめ、公園花壇や公共施設への花の普及、市民の花バラの普及促進などの事業においては、市川市と連携するとともにボランティア団体、地元企業、各種団体との協働によって推進した。新型コロナウイルス感染症が 5 類に引き下げられてから 2 年目ということもあり、「いちかわローズフェア」などの各種イベントも盛大に行う事ができた。

これまで、公益目的事業の拡大に努めてきたが、市からの受託事業の大幅な削減により厳しい状況を迎えていたが、令和 5 年度から受託した、第一庁舎南側植栽、補植管理事業を引き続き行い、公益事業の減少を抑える事ができた。又、今後の事業の拡大に対応していくため組織体制を整えるとともに、適切な財団運営のために必要な規程等の整備と改正を行った。

なお、公益目的事業の安定的かつ計画的な推進のため、収益事業の確保・拡大をはじめ、基本財産の適正かつ効率的な運用に努めた。

第1 公益目的事業

1. 花と緑に関する講座の開催

花と緑の普及啓発を図るため、各種講座を開催した。特に将来的な公園緑地管理の受託を考慮し、市民参加の担い手となるボランティアを養成していく講座を引き続き開催した。

① 市川の緑地を知るボランティア体験教室

身近にある緑地の大切さを学び、里山や緑地のボランティア活動を体験する教室。

里見公園及び市内緑地の現場で、4 月～7 月全 6 回、参加人数は 19 名。

② はじめてのバラ講座

市民の花バラを美しく咲かせるため、バラの育成、管理について学ぶ年間講座。

大洲防災公園(夏期剪定、冬期剪定は里見公園)にて、

4 月～翌年 2 月まで全 8 回。参加人数は 30 名。

③ 素敵なガーデニング講座

園芸各分野の専門家の講師による聴講式講座。

全日警ホールにて、6 月～10 月全 5 回、参加人員は 57 名。

④ ナチュラルガーデナー養成講座

講師と共にナチュラルガーデンを作り、適切に管理するために必要なお庭造りの基礎知識を学ぶ講座。

大洲防災公園内ローゼンハイム広場にて、4月～翌年3月全7回、参加人数29名。

⑤ はじめてのガーデニング講座

家庭園芸の技術を楽しく、実践的に基礎から学ぶ講座。

まちづくり財団2階研修室にて、5月～11月全5回、参加人数は20名。

⑥ 庭木の手入れ講座

自宅の庭木の手入れ方を植木の専門家から学ぶ講座。

里見公園にて5月～11月までに全5回。参加人数は20名。

⑦ ハンギングバスケット講座

壁や門扉を利用して花や緑を楽しむハンギングバスケットづくりを学ぶ講座。

里見公園、南行徳市民センターにて、4月～6月まで1回ごとの開催。

里見会場2コース、南行徳市民センター会場2コース、全4コース。

参加人数は里見会場39名、南行徳市民センター会場30名。(延べ人数)

⑧ 寄せ植え講座

季節の寄せ植えを学ぶ講座。

里見会場(金曜コース、土曜コース)、南行徳市民センター(金曜コース、土曜コース)にて5月～11月の各全2回。(全8コース)

参加人数は里見会場 金曜コース78名、土曜コース70名、

南行徳市民センター 金曜コース72名、土曜コース44名。(延べ人数)

⑨ その他単発講座

○クリスマスのハンギングバスケット講座

クリスマスをイメージしたハンギングバスケット講座を里見公園、南行徳市民センターにて12月に開催。里見会場20名、南行徳市民センター15名。

○親子で木工体験講座

クリスマスリース作り講座、ミニ門松づくり講座を12月に開催。

クリスマスリース作り講座は親子で15組、ミニ門松作り講座は親子で15組。

○親子を対象とした森林体験講座(令和6年度より)

市川の森林の認知を高めると共に、親しみを感じてもらうことを目的とする。

・生き物いっぱい！おもしろい土の世界を11月に開催。親子で17組。

・こども竹林大作戦！を1月に開催。親子で12組。

・親子木育講座(親子でミニツリーハウスをつくろう！)を3月に開催。親子で10組。

⑩ 公民館主催の講座

各公民館から依頼のあった講座を開催。

○市川駅南公民館 5月 多肉植物の寄せ植え講座 16名。

7月 苔玉作り講座 16名。

12月 ミニ門松作り講座 10名。

○菅野公民館 6月 ハーブの寄せ植え講座 16名。

2. 園芸相談

市民から来訪、電話、葉書き等で寄せられる園芸に関する相談に対し、随時対応した。

3. 催し物等の開催

花と緑のまちづくりに関する普及啓発を図るために以下の催し物を開催した。
また、各種行事に参加・協力して、財団のPR及び花と緑の普及啓発を推進した。

① いちかわローズフェアの開催

市民の花バラの展示及び普及促進、並びに花と緑のまちづくりの啓発を図るため、里見公園バラ園を中心にして、「いちかわローズフェア」を5月11日(土)に開催。はじめての試みとして、第三中学校吹奏楽部による演奏(オープニングセレモニーも含)、を取り入れた。天気にも恵まれ、大盛況で終えることができた。来場者数は5,000人。

② 秋バラ観賞会

秋の里見公園のバラ園を楽しみながら鑑賞してもらうイベントを10月19日(土)に開催した。
2回目となる令和6年度は、バラのガイドツアー、バラの寄せ植え講座などを行った。
来場者数は2,000人。

③ 各種イベントへの参加

市川市主催の、「水辺のまちづくり いちかわ水辺クルーズ」が、7月20日(土)に開催され、参加協力した。協力内容としては、日々草の苗を8ケース、かき氷の無料配布、パンフレット等の配布を行い、財団のPRを行った。
また、「いちかわ市民まつり」に木工クラブと共に参加し、花苗の販売を行った。
「いちかわ環境フェア」では、例年通り、いちかわ森の交流会のパネルや資料の展示等を行い、花と緑のまちづくりについて啓発を行った。
令和6年度から、市川市主催の「里見公園桜まつり」のイベントに協力し、くじ引きや花苗、駄菓子、ヤマザキのランチパックやおにぎりなどの販売も行った。

4. 市民活動の支援

花と緑のまちづくりに貢献する市民活動を支援した。(ボランティア支援)

① バラのボランティア(ローズオブ市川 128名)支援

市川市より受託している市内のバラ園(里見公園他6公園、八幡駅前ロータリー)で活動しているボランティア団体(ローズオブ市川)に対して、活動に必要な資材の支援を行うと共に、視察研修会を開催した。行き先は神代植物園、参加人数は、78名。
又、はじめてのバラ講座の受講生の補助として講座に参加し、受講生のレベルアップ、ボランティアの育成につなげることができた。

② 緑のボランティア活動支援(いちかわ里山倶楽部他7団体 158名)

緑地の自然調査、適正な管理作業などのボランティア活動を行っている登録市民団体等に対し支援を行うとともに、1団体あたり5万円を限度として8団体に対して362,000円を助成した。

機械の老朽化に伴い、備品の買い直しや道具の支援を行い、チェーンソー講習会や、スキルアップ研修会を開催した。又、緑地を知る体験教室の運営や、補助を行い、ボランティアの育成につなげることができた。

③ 草花管理ボランティア(ナチュラルガーデンオブいちかわ17名)支援

大洲防災公園ローゼンハイム広場にて、スキルアップ講座を行った。

④ 樹木管理ボランティア (グリーンサム市川26名)の支援

大洲防災公園内ローゼンハイム広場周辺の樹木管理、また、じゅん菜池緑地の茶庭の整備等を行うため、講師派遣、資材提供を行った。グリーンサム市川のパンフレット等を作成し、その作成費を助成した。

⑤ 公園花壇管理(市川ガーデニングクラブ 55 団体、525 名)支援

都市公園等で行う花壇管理に関するボランティア活動に対して、年2回、花苗や肥料、土などの園芸資材を提供した。資材の値上がりが続くことから、令和6年度より1㎡あたり10株の支援から、8株に変更した。花苗配布数 19,372 株。

⑥ 自治会等草花配布

花で満たされた潤いのある街づくり活動を展開する自治会等 18 団体に対して、12 月に葉牡丹 2,294 株の配布を行った。

5. 市民の花バラの普及促進

1975 年より市民の花と定められているバラについて、その普及促進活動を進めた。

① 普及啓発

財団のホームページにバラの情報を掲載、小冊子「由緒あるバラの街 市川」の配布等を行うと共に、いちかわローズフェア等のイベントを開催し、普及啓発を図った。

② バラ園維持管理

里見公園他6公園のバラ園について、草刈、薬剤散布、剪定等の管理を適切に行った。

また、計画的にバラ園の拡充整備、補植等を行い、市内のバラ園の拡充を図った。

令和6年度は、須和田公園の補植を行った。

③ バラ園をバラ育成体験学習の場やバラボランティア人材育成の場として活用

バラ園の一部を、バラ年間育成講座の体験学習の場やバラボランティアの人材育成の場として活用した。

ローズオブいちかわ活動バラ園

里見公園、須和田公園、大洲防災公園、行徳駅前公園、南行徳公園、

広尾防災公園、大町公園、京成八幡駅前ロータリー花壇

6. 公共施設における花と緑の普及促進

市民生活に密接に係わり、しかも都市景観の形成に効果的な公共施設をはじめ市街地において、積極的に花と緑の普及促進を図る。

① 公共施設における推進

公共施設において市民の花バラをはじめ、草花等、花と緑を普及促進した。又、市内小学校、中学校、保育園、幼稚園等にも花苗の配布を行った

令和6年度配布数

教育施設関係 → 70 施設 9,936 株

公民館他施設 → 13 公民館、5 施設 2,160 株

② 公共施設におけるバラ園管理及びバラ園周辺の植栽管理

市川市からの管理受託事業として、東山魁夷記念館駐車場花壇、塩浜体育館脇バラ園、第一庁舎駐車場入り口バラ園を整備し管理した。

また、大洲防災公園花壇等の一部にて植栽、剪定、除草、刈込等の管理業務を受託し、市民に良好な公園づくりを通じて花と緑のまちづくりに努めた。

③ 公共施設の植栽維持管理(市受託事業)

市受託事業として、市川市内の緑地保全、整備等を緑のボランティアと行い、適正に管理した。(里山環境保全管理事業)

市受託事業として、第一庁舎南側の国道14号沿いの花壇に新たにローズいしかわを植栽し、草花と共に、適正に管理した。(第一庁舎南側バラ、草花、補植事業)

④ 桜並木整備

令和4年度に植栽した、北国分地域に植栽した16本の維持管理を行った。

7. 助成

花と緑のまちづくりを推進するために、各種助成事業を行った。

① 生垣助成

潤いのある緑豊かな環境づくりと地震や火災などの災害に対して強いまちづくりの一環としての生垣設置の助成を行っているが、令和6年度は申請がなかった。

② 屋上緑化助成

都市の快適環境を創出すると共にヒートアイランド現象の緩和を図るための屋上緑化の助成を行っているが、令和6年度は申請がなかった。

③ 花壇設置助成

市川市が進める花と緑に満たされた魅力あるまちづくりのために花壇設置の助成を行っているが、令和6年度は申請がなかった。

④ 駐車場緑化助成

都市緑化を推進し、都市の快適環境を創出すると共にヒートアイランド現象の緩和及び良好な環境の創出を図るために駐車場の緑化を助成しているが、令和6年度は申請がなかった。

⑤ その他助成

令和6年度は該当なし。

第2 収益事業

1 自動販売機等の経営

令和6年度は、里見公園他17公園において、財団が有償で土地を確保し、飲料水自動販売機49台とアイスクリーム自動販売機14台を設置している。

財団は自動販売機会社から売り上げの一部を手数料として受け取り、公益事業に活用した。

令和6年度は、3年間の契約期間が終了となるので、令和7年2月に飲料水自動販売機46台に対しての入札を行った。

結果として、46台中の36台が応札され、その他市川市との災害協定を結んでいる3台を合わせた39台となった。アイスクリーム自動販売機の14台は、6か月の契約延長を行い、その後入札を行う。

又、令和7年度中にWi-Fi機能付き自動販売機2台の入札を行う予定である。

第3 法人管理

1 基本財産の造成、管理及び運営事業

基本財産を安定的かつ効率的に運用し、利息収益の確保に努めた。

基本財産の6億5千万円に関しては、満期保有目的債券に変更した。